

フェッラーラ

新年が明けて、やっと晴れ間が出ましたので、早起きしてゲリラ的に出かけました。フィレンツェ経由でシエナに行くつもりでミラノ中央駅に行ったのですが、フィレンツェまでのユーロスター (ES) のチケットは満員で席が取れないため、急遽、行き先をフェッラーラに変更して、同じ ES でボローニャ行きのチケットを購入し、ついでに、ボローニャ・フェッラーラ間のチケットも購入してミラノ中央駅を出発しました。フェッラーラはボローニャから普通列車で 30 分ですので、ラヴェンナよりも近く、しかも列車は 1 時間に 1 本ありますので簡単に行く事が出来ます。

フェッラーラは、エステ家がモデナに移る前 (13 世紀から 16 世紀まで) に領主として統治していた古都です。エステ家はルネッサンス期に芸術の維持に努めた領主で、その結果、この古都にはルネッサンス文化が今でも残されて“ルネッサンスの華”と言われています。ユネスコは 1995 年にフェッラーラを「ルネッサンス期の市街とポー川デルタ地帯」として世界遺産に登録しました。フェッラーラの駅から歩いて 15 分くらいのところにエステ家の居城であったエステンセ城があります。そこから旧市街で 100 メートルも行かないうちに、フェッラーラのドゥオモであるカッテドラーレがあり、その前のカッテドラーレ広場がフェッラーラの中心地です。きれいな広場で、多分、16 世紀からそれほど変わっていないと思われます。このエステンセ城とカッテドラーレがフェッラーラ観光の目玉です。ここもまだまだクリスマス気分ですので、広場には街頭市の屋台がいっぱい出ていました。もちろん、その周りには観光客と買い物客があふれています。たくさんの観光客があちこちでこの広場とエステンセ城の写真を撮っていました。





カattedラーレは、13世紀に建設が始まり、ロマネスクとゴシック建築の混合となっています。ロマネスク装飾のファサードは見事としか言葉が見つかりません。教会の側面はアーケードとなっていて広場に溶け込んでいます。内部も非常に豪華で、北イタリアでも十指に入る教会だと思います。



エステンセ城の見学は後にして、ロメイ家の邸とエステ家の別荘であったスキファノイア宮殿に向かいました。ここは両方とも美術館になっていて内部のフレスコ画を見ることが出来ます。但し、両方とも写真撮影禁止で、残念ながら建物しか写していません。ロメイ家の邸は2階建ての小さな宮殿ですが、小さくまとまっていて、小さな中庭には中世上流階級の雰囲気良く残っています。

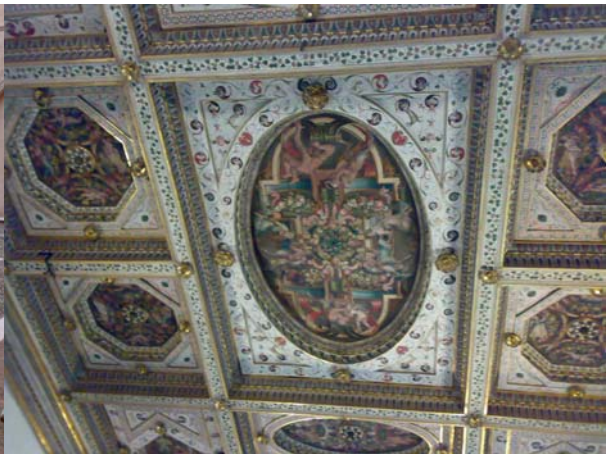


スキファノイア宮殿には、部屋いっぱいのフレスコ画が残っています。さすがに、領主であるエステ

家の別荘だけの事はあります。中庭には美味しそうなレストランがひっそりとありました。



街を歩き回り、ディアマンテ宮殿等の名所を見て歩いた後に、エステンセ城に入りました。城内の各部屋の天井にはフレスコ画がきれいに描かれています。スキファノイア宮殿よりも保存状態が良いのでしょうか、それとも修正しているのかわかりませんが、非常にきれいです。ここは、フラッシュ無しでの撮影は許されています。



また、城の中から、城の塔に登ることもできて、そこからのすばらしいフェッラーラの街を望むことができます。



駅からエステンセ城までは、歩いて **15,20** 分くらいですので、ちょっと距離があります。駅からはバスも出ていますのでバスを利用しても良いでしょう。フェッラーラの駅前は、普通の都会です。とても世界遺産の街とは思えませんので、あまり見て回るようなところはありません。但し、駅横の公園の脇から大通り沿いに歩けば、エステンセ城まではたいした距離ではありません。

フェッラーラの街はそれほど大きくないので、エステンセ城からは歩いて街中を回ることが出来ます。エステンセ城の先のカattedラーレ広場は、とてもきれいな広場です。但し、この日は、街頭市が出ていたためにちょっと落ち着きがないのが残念でした。但し、小奇麗なカフェもあり、天気の良い日にはゆっくりとしたいところです。お昼は、カフェで小さなピザとカフェを食べましたが、店もきれいで、店の人も親切でした。ここは、お気に入りの広場の一つとなりました。

ミラノ中央駅を **8時 15分** の **ES** で出て、ボローニャ経由でフェッラーラに着いたのは **10時半** です。それから **3時半** までたつぷりと時間をとって歩き回りましたが、それでも足りないくらい見どころが多い街です。今回は、宮殿とお城を見学しましたので、美術館で絵画の鑑賞はしていません。もし、絵画の鑑賞まで計画するなら、もう少し時間が必要だと思います。フェッラーラを **3時半** に出て、ミラノ中央駅に着いたのは **5時 45分** です。